

基本方針Ⅲ 森林の強靱化

利根川水系の「上流社会」としての責任を果たすとともに、県民の生命と財産を守るため、林業経営を通じた森林整備を推進するほか、条件不利な森林については公的管理により整備し、災害の防止や水源の涵養^{かん}、地球温暖化防止等の公益的機能が高度に発揮される森林づくりを推進します。



1 防災・減災

施策の柱6

(1) 山地災害の防止・被害軽減

現状と課題

- ◆ 森林は、二酸化炭素(CO₂)を吸収する地球温暖化防止機能をはじめ、国土の保全や水源の涵養^{かん}、快適な生活環境の形成等の様々な公益的機能を有しています。
- ◆ 地球温暖化の進行に伴い集中豪雨が増加する傾向にあり、自然災害が激甚化、頻発化する危険性が高まっています。
- ◆ 県民意識アンケート(令和元年度)の結果では、県民生活に関連する37項目に関する重要度・満足度において、「水・空気・自然環境」が重要度3位、満足度1位、「自然災害に対する備え」が重要度8位、満足度12位となっており、環境や災害に対する県民意識の高さがうかがえます。(県民意識アンケートの詳細は資料編の参考資料参照)



山地災害の発生状況



復旧状況

将 来 ビ ジ ャ ャ ャ ャ

- ◆ 治山事業の実施により、森林の公益的機能が高度に発揮されています。

取組の方向性

- ◆ 治山事業及びぐんま緑の県民基金事業の推進により、公益的機能を高度に発揮する森林を維持・造成します。

具体的施策《重点取組》

(山地災害により荒廃した森林の速やかな復旧)

- ◆ 豪雨、地震等により山地災害が発生した場合には、治山施設を設置し、公益的機能が高度に発揮される森林へ速やかに復旧します。

(山地災害危険地区^{*}における事前防災)

- ◆ 山地災害危険地区の危険度判定により、崩壊・落石防止等の計画的な予防対策を実施するとともに、既存施設の維持管理、機能強化等の長寿命化対策を推進します。



山地災害危険地区の事前防災（落石防止対策）



集落を守る落石防護壁